



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー  
 コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	44,316	5.0	2,868	23.0	2,810	△13.2	1,142	△22.6
26年3月期第1四半期	42,223	7.7	2,332	141.7	3,238	264.8	1,476	533.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,011百万円 (△58.3%) 26年3月期第1四半期 2,425百万円 (180.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	20.03	—
26年3月期第1四半期	25.89	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	183,106	132,312	67.8	2,175.44
26年3月期	186,274	132,810	67.0	2,188.59

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 124,099百万円 26年3月期 124,850百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	21.00	—	27.00	48.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,000	2.2	6,100	△9.4	6,200	△25.1	3,000	△32.1	52.59
通期	193,000	1.6	19,000	0.3	19,300	△10.2	10,200	△8.4	178.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	60,592,541株	26年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	3,546,877株	26年3月期	3,546,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	57,045,729株	26年3月期1Q	57,046,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)

事業区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	30,681	72.7	30,675	69.2	△6	△0.0
コスメタリー	11,070	26.2	13,145	29.7	2,074	18.7
その他	471	1.1	495	1.1	24	5.1
売上高計	42,223	100.0	44,316	100.0	2,092	5.0

区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	2,332	5.5	2,868	6.5	535	23.0
経常利益	3,238	7.7	2,810	6.3	△427	△13.2
四半期純利益	1,476	3.5	1,142	2.6	△334	△22.6

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)における日本経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に伴う反動減の影響はあったものの、個人消費の一部で持ち直しの動きが見られるなど、徐々にその影響が薄れ、基調的には緩やかな景気回復が続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、「成長ドライバーへの注力」、「基幹ブランド事業の収益性拡大」、「経営基盤の強化」の3つを基本方針に掲げ、全社一丸となって新たな成長軌道に乗せる「攻めの改革」を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、消費増税後の反動減の影響が懸念された中、化粧品事業が前年並みの水準を確保したことに加え、コスメタリー事業が前年を大幅に上回ったため、売上高は前年同期比5.0%増の44,316百万円(為替の影響を除くと前年同期比4.0%増)となりました。

利益につきましては、積極的なマーケティング投資による増収効果、及び原価率の改善や管理費等の抑制により、営業利益は2,868百万円(前年同期比23.0%増)となりました。経常利益は為替の影響により2,810百万円(同13.2%減)、四半期純利益は1,142百万円(同22.6%減)となりました。

なお、平成26年4月に買収し当社の子会社となった米国の化粧品販売会社Tarte, Inc. につきましては、貸借対照表のみ当第1四半期から連結し、損益計算書は当第2四半期から取り込む予定です。

化粧品事業につきましては、ハイプレステージブランドが主として百貨店チャネルで回復過程にあります。新製品の投入やプロモーションを強化した「雪肌精」や「エスプリーク」など、プレステージブランドがドラッグチャネルを中心に売上を拡大しました。これらの結果、当事業の売上高は30,675百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益は原価低減の効果もあり3,547百万円(同16.5%増)となりました。

コスメタリー事業につきましては、テレビCM等の広告宣伝を積極的に実施したことにより、主要ブランドが総じて好調なコーセーコスメポート(株)が牽引したほか、前期にリニューアルしたセルフメイクブランド「ヴィセ」や「エルシア」が引き続き順調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は13,145百万円(同18.7%増)、営業利益は251百万円(同143.1%増)となりました。

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は495百万円(同5.1%増)、営業利益は150百万円(同3.4%減)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月28日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、Tarte, Inc. は当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。当第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、四半期連結損益計算書には被取得企業の業績を含んでおりません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び、支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,798	37,465
受取手形及び売掛金	31,245	25,443
有価証券	10,482	8,245
金銭の信託	12,000	12,000
商品及び製品	9,941	12,399
仕掛品	1,299	1,910
原材料及び貯蔵品	8,563	10,867
繰延税金資産	4,643	4,405
その他	1,682	2,104
貸倒引当金	△264	△260
流動資産合計	130,391	114,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,792	30,033
減価償却累計額	△18,433	△18,609
建物及び構築物(純額)	11,359	11,423
機械装置及び運搬具	12,896	12,907
減価償却累計額	△11,101	△11,136
機械装置及び運搬具(純額)	1,794	1,770
工具、器具及び備品	31,201	31,592
減価償却累計額	△26,859	△27,199
工具、器具及び備品(純額)	4,341	4,393
土地	17,015	17,002
リース資産	1,198	1,227
減価償却累計額	△608	△661
リース資産(純額)	589	565
建設仮勘定	316	509
有形固定資産合計	35,417	35,665
無形固定資産		
ソフトウェア	1,547	1,604
のれん	—	12,773
その他	3,130	2,887
無形固定資産合計	4,677	17,265
投資その他の資産		
投資有価証券	6,654	7,238
繰延税金資産	6,372	5,597
その他	2,925	2,921
貸倒引当金	△164	△164
投資その他の資産合計	15,788	15,593
固定資産合計	55,883	68,523
資産合計	186,274	183,106

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,879	9,325
電子記録債務	2,146	10,778
短期借入金	771	1,019
リース債務	178	163
未払金	7,741	6,426
未払費用	8,183	4,236
未払法人税等	5,912	62
未払消費税等	1,289	1,155
返品調整引当金	2,047	1,485
その他	727	3,287
流動負債合計	39,877	37,942
固定負債		
リース債務	436	408
役員退職慰労引当金	3,179	1,872
退職給付に係る負債	9,609	9,170
その他	360	1,399
固定負債合計	13,585	12,851
負債合計	53,463	50,793
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	118,070	117,672
自己株式	△9,079	△9,080
株主資本合計	120,229	119,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	763	855
為替換算調整勘定	1,653	1,235
退職給付に係る調整累計額	2,203	2,177
その他の包括利益累計額合計	4,620	4,268
少数株主持分	7,960	8,212
純資産合計	132,810	132,312
負債純資産合計	186,274	183,106

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	42,223	44,316
売上原価	10,226	10,159
売上総利益	31,997	34,156
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,589	3,452
販売促進費	8,728	9,073
運賃及び荷造費	1,624	1,770
給料及び手当	9,403	9,455
退職給付費用	279	324
法定福利費	1,338	1,461
減価償却費	584	596
その他	5,115	5,153
販売費及び一般管理費合計	29,664	31,288
営業利益	2,332	2,868
営業外収益		
受取利息	39	44
受取配当金	66	32
特許実施許諾料	20	13
有価証券償還益	252	—
為替差益	503	—
雑収入	38	34
営業外収益合計	920	124
営業外費用		
支払利息	9	1
為替差損	—	176
雑損失	5	3
営業外費用合計	14	182
経常利益	3,238	2,810
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	36	4
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	37	4
税金等調整前四半期純利益	3,202	2,806
法人税、住民税及び事業税	277	109
法人税等調整額	1,205	1,327
法人税等合計	1,483	1,436
少数株主損益調整前四半期純利益	1,719	1,369
少数株主利益	242	226
四半期純利益	1,476	1,142



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,719	1,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	92
為替換算調整勘定	700	△426
退職給付に係る調整額	—	△23
その他の包括利益合計	706	△357
四半期包括利益	2,425	1,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,152	789
少数株主に係る四半期包括利益	273	221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,681	11,070	41,752	471	42,223	—	42,223
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	144	144	△144	—
計	30,681	11,070	41,752	615	42,367	△144	42,223
セグメント利益	3,045	103	3,148	156	3,304	△972	2,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△28
各報告セグメントに配分していない全社費用	△943

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	計
37,276	4,801	145	42,223

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,675	13,145	43,820	495	44,316	—	44,316
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	139	139	△139	—
計	30,675	13,145	43,820	634	44,455	△139	44,316
セグメント利益	3,547	251	3,798	150	3,949	△1,081	2,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△54
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,027

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、Tarte, Inc. が連結子会社となったことによるのれんの増加額は、化粧品事業において12,773百万円であります。なお、のれんの金額につきましては取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に計算された金額であります。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	計
39,581	4,596	138	44,316

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：Tarte, Inc.

事業の内容：化粧品の販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

北米における当社グループの存在感を高めていき、更なる海外事業の拡大と、新たな販路と顧客の獲得をめざすため。

## (3) 企業結合日

平成26年4月1日

## (4) 企業結合の法的形式

株式取得

## (5) 結合後企業の名称

Tarte, Inc.

## (6) 取得した議決権比率

93.5%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	13,277	百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	403	
取得原価		13,680	

ただし、現在、株式取得契約に基づく譲渡対価の精査過程にあるため、当第1四半期連結会計期間末においては、取得原価は確定しておらず、上記は暫定的な金額です。

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん金額

12,773百万円

なお、のれん金額につきましては取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に計算された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。

## (3) 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却する予定であります。

なお、償却期間につきましては、現在算定中であります。